

**平成 30 年度 新国立劇場高校生のためのオペラ鑑賞教室****ジャコモ・プッチーニ****「トスカ」**

【全3幕&lt;イタリア語上演/字幕付&gt;】

2018年7月6日(金) 9日(月) 10日(火) 11日(水) 13日(金) 14日(土)  
全6回公演 全日 13:00 開演 新国立劇場オペラパレス**新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室で  
本物の感動を体験する。**

高校生の心に感動を伝え続ける新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室。1998年より毎年開催され、今年で21年目を迎えます。演目としては、『蝶々夫人』『トスカ』『カルメン』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『椿姫』『ラ・ボエーム』『愛の妙薬』『夕鶴』『フィガロの結婚』と、オペラの名作9演目を上演、高校生及び学校関係者に好評を得てきました。来場する高校生は毎年約1万2千人、これまでに20万人に及ぶ高校生が参加しています。来場者の約8割がオペラ鑑賞初体験という高校生たちですが、幕が開くとざわついた劇場内はたちまち静まり返り、ドラマティックなストーリー展開と歌手やオーケストラの生演奏に引き込まれていきます。

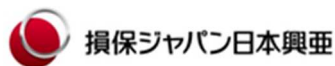
今年の演目の『トスカ』は、プッチーニの作品でも特に人気の高い作品です。演出は、作品の神髄をイタリアの伝統的な演出手法で描くアントネッロ・マダウ＝ディアツ。第1幕終盤の〈テ・デウム〉をはじめ、19世紀ローマを模した荘厳重厚な舞台美術や衣裳が大きな見どころで、新国立劇場のレパートリーの中でも屈指の人気を誇ります。日本を代表するオペラ歌手、オーケストラが出演する本格的な舞台を、各方面からのご支援により破格の料金でご覧いただく貴重な機会です。一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

チケット料金： 全席指定 高校生 2,160円(要学生証)

前売開始：2018年6月10日(日)

残席がある場合に限り、当日券として4,320円で一般(大人)の方も購入可(高校生以下2,160円)。

チケットに関するお問い合わせ： 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999

助成： 公益財団法人 **ロームミュージックファンデーション**協賛： **ローム株式会社**

&lt;写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ&gt;

新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/

e-mail:takanashi\_y2525@nntt.jac.go.jp

## ■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及をめざす新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を鑑賞する機会として 1998 年(平成 10 年)より毎年開催し、今年で 21 年目を迎えます。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じ全幕プロダクションを上演、日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変ご好評をいただいております。平成 20 年度より関西公演が開始され、毎年東京公演、関西公演あわせて約 1 万 2 千人の高校生が「本物の芸術」であるこの公演でオペラデビューしています。

今年度の東京公演は、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、協賛としてローム株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社のご支援のもと、プッチーニのオペラ『トスカ』を上演します。

東京公演に引き続き関西公演は、京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、新国立劇場の主催、公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションの助成、ローム株式会社の協賛により、2018 年 10 月 29 日(月)・31 日(水)にロームシアター京都で開催されます。演目は『魔笛』、指揮は園田隆一郎、管弦楽は京都市交響楽団です。

## ■平成 29 年度鑑賞教室『蝶々夫人』アンケートより

『蝶々夫人』を上演した平成 29 年度のアンケート結果によると、オペラ鑑賞初体験の高校生は全体の約 8 割(79.8%)を占めました。約 9 割(87.2%)の高校生が鑑賞後に「とても良かった/面白かった」「良かった」と答えました。また、オペラをまた見たいかという質問にも、約 9 割(92%)の高校生が「自分でチケットを買って見たい」「学校やグループで行く機会があればまた見たい」と回答しました。新国立劇場のオペラ鑑賞教室に参加する学校も年々増え、首都圏の約 50 校が参加しています。

(アンケートより)

- ◆すごい迫力で圧倒されました。声量やオーケストラまで全てがすごくておどろいた。歌で言葉はわからなくても表現されていてわかりやすいし心に響いた。(3年生/女子)
- ◆アメリカ国旗の方を向いて自分を刺す夫人のピンカートンへの愛のはかなさに感動と、誇りを覚えた。ずっと白い服だったのに、アメリカ行ったピンカートンが黒で帰ってきた時、もう2人がくっつくことはないことに切なくなった。(2年生/女子)
- ◆とても広い会場にもかかわらず、一番後ろの席ですら声が響いてきて、すごいと思いました。(1年生/男子)
- ◆オペラは初めて見たので、日常会話風なセリフでも、音楽に合わせて発せられていることに驚きました。歌、オーケストラ、舞台装置の全てが細かい所まで話を再現していて、見入ってしまいました。貴重な機会を、ありがとうございました。(2年生/男子)
- ◆演技も音楽も舞台装置も全てが素晴らしかったです。鳥肌が立つほど圧倒されました。本物のオペラに触れることができ、本当に良かったです。ありがとうございました。(1年生/女子)
- ◆映画では味わえない、出演者・演奏者・観客の一体感を感じることができて良かったです。素晴らしい公演をありがとうございました。(1年生/女子)
- ◆先生から、音楽がすごいと言われていたが、本当にビデオと生で見ると全く別物でとても感動した。また、とても声がききとりやすく、すごく楽しかった。(2年生/男子)
- ◆声の響きに魅了された。あと、オーケストラの音楽も、ストーリーにあわせた迫力のある演奏だった。別のオペラもまた見に行きたい。(2年生/男子)
- ◆感情と共に高なる音楽といえ、ほんとうに最高でした。私も蝶々夫人の世界に入り込んでしまい、涙が出てしまうほどでした。音楽の力ってすごい!!!(1年生/女子)

## ■『トスカ』 あらすじ

【第1幕】王制派の警視総監スカルピアの恐怖政治下にある 1800 年 6 月 17 日のローマ。共和派で画家のカヴァラドッシが教会でマリア像を描いていると、友であるアンジェロッチが脱獄して逃げてくる。カヴァラドッシは再会を喜ぶが、恋人のトスカが来るので慌てて彼を礼拝堂に隠す。トスカは描きかけのマリア像が侯爵夫人にそっくりだと嫉妬するが、カヴァラドッシになだめられ教会を去る。二人が隠れ家に向った後、スカルピアが教会にやってくる。脱獄犯をかくまった証拠をつかんだスカルピアは、嫉妬深いトスカを利用して二人の行方を突きとめようとする。

【第2幕】スカルピアの執務室にカヴァラドッシが連行される。アンジェロッチの居場所を白状しない彼は、拷問部屋へ連れていかれる。トスカは拷問を受ける彼のうめき声を聞き、その居場所を告白してしまう。カヴァラドッシを助けてほしいとトスカが懇願すると、スカルピアは代わりにトスカ自身を要求。トスカは泣く泣く受け入れる。スカルピアは、形だけの死刑執行をするため、空砲で銃殺刑を行うと約束する。納得したトスカは出国のための通行証書を要求。書き終えたスカルピアがトスカを抱こうとしたとき、「これがトスカの口づけよ」とトスカはスカルピアを刺し、部屋を去る。

【第3幕】牢獄のカヴァラドッシのもとにトスカが忍び込み、スカルピアを殺したこと、刑は見せかけであることを告げ、愛と希望を歌い上げる。死刑執行のときを迎え銃声が鳴り響き、地面に崩れ落ちるカヴァラドッシ。トスカが駆け寄ると、彼は命尽きていた。そのときスカルピア殺害も発覚。追い詰められたトスカは、聖アンジェロ城から身を投げる。



写真：平成 21 年度高校生のためのオペラ鑑賞教室『トスカ』より

## ■公演概要

タイトル	平成 30 年度 新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 「トスカ」 全3幕<イタリア語上演/字幕付>
スタッフ	指 揮： 城谷 正博 演 出： アントネッロ・マダウ＝ディアツ 美 術： 川口 直次 衣 裳： ピエール・ルチアーノ・カヴァッロツティ 照 明： 奥畑 康夫
キャスト	(7月6・10・14日) (9・11・3日) <トスカ> 小林 厚子 木下美穂子 <カヴァラドッシ> 村上 敏明 樋口 達哉 <スカルピア> 須藤 慎吾 谷 友博 <アンジェロツティ> 久保田真澄 友清 崇 <スポレッタ> 今尾 滋 倉石 真 <シャルローネ> 大塚 博章 安東 玄人 <堂 守> 志村 文彦 峰 茂樹
合 唱	新国立劇場合唱団 びわ湖ホール声楽アンサンブル
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
主 催	新国立劇場
助 成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
協 賛	ローム株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
日 程	2018年7月6日(金)13:00、9日(月)13:00、10日(火)13:00、 11日(水)13:00、13日(金)13:00、14日(土)13:00 *開場は開演の45分前です。
会 場	新国立劇場オペラパレス
料 金(税込)	前売:高校生 2,160円(要学生証) 2018年6月10日(日)前売開始 *残席がある場合に限り、一般の方も当日券として1人1枚購入可 高校生以下 2,160円、一般(大人)4,320円
お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、常松美登里子様からのご寄附を活用して行う公演事業です。

## ■プロフィール

### 【指揮】城谷正博

JOYA Masahiro

東京芸術大学作曲科、同大学大学院指揮科修了。安宅賞受賞。東京フィル、ハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団など日本の主要オーケストラを指揮。オペラ指揮者として、2000年『フィガロの結婚』でデビュー以来、日生劇場『カプレーティとモンテッキ』、まつもと市民オペラ『魔笛』など多くの作品を指揮。古典から近現代、現代日本オペラまで幅広いレパートリーを持ち、特にワーグナーをその中心に据えている。現在新国立劇場音楽チーフ。新国立劇場では鑑賞教室『椿姫』、『愛の妙薬』、『さまよえるオランダ人』＜演奏会形式＞『ジークフリート』ハイライトコンサートなどを指揮。

### 【演出】アントネッロ・マダウ＝ディアツ

Antonello MADAU-DIAZ

イタリア・ペルージャ生まれ。フィレンツェで舞台技術と演出を学び、ヴィスコンティ、ゼッフィレッリなど世界第一級の演出家のもとで研鑽を積む。1956年ジェノヴァ市立歌劇場の『ヘンゼルとグレーテル』でオペラ演出家デビュー。以来、ミラノ、ローマなどイタリア各地をはじめ、スペイン、フランス、アメリカなど世界各地の歌劇場で200本以上の演出を手がけ、オペラ専門の演出家として活躍。いずれもイタリアオペラの伝統を踏まえた手堅い演出で評価を得ている。58年から91年までミラノ・スカラ座に所属し、演出部長、制作部長を務めた。新国立劇場では、98年に『ナブッコ』、2000年には『トスカ』の演出を手掛けた。『トスカ』は緻密な舞台づくりと豪華な舞台装置で、新国立劇場屈指の人気レパートリーとなっている。2015年8月逝去。

### 【トスカ】小林厚子

KOBAYASHI Atsuko

〈7月6日・10日・14日〉

東京芸術大学大学院オペラ科修了。文化庁在外派遣によりイタリアにて研修。藤原歌劇団にデビュー後、同歌劇団『蝶々夫人』でタイトルロールデビュー。首都オペラ『フランチェスカ・ダ・リミニ』フランチェスカ、オペラ彩『マリア・ストゥアルダ』エリザベッタ、『マクベス』マクベス夫人、西本智実プロデュース『蝶々夫人』、フィオーレオペラ『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・アンナ、イタリアのトラエッタ・オペラ・フェスティバルではトラエッタ劇場、クルチ劇場の『蝶々夫人』に出演を重ねる。ヴェルディ『レクイエム』、『ミサ・ソレムニス』、第九などのソリストとしても活躍。新国立劇場では平成29年鑑賞教室『蝶々夫人』に出演。また、『アイーダ』タイトルロール、『アンドレア・シェニエ』マッダレーナ、『オテロ』デズデモーナ、『ドン・カルロ』エリザベッタ等ドラマティックソプラノの難役でカヴァーを務め、公演の成功に貢献している。藤原歌劇団団員。

### 【トスカ】木下美穂子

KINOSHITA Mihoko

〈7月9日・11日・13日〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。第70回日本音楽コンクール声楽部門1位など受賞多数。これまでに『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ、『椿姫』ヴィオレッタ、『仮面舞踏会』アメリア、『ラ・ボエーム』ミミ、『蝶々夫人』タイトルロールなどで絶賛されている。2007年ローマより拠点をNYへ移し、ワシントン州のING パフォーミングアーツセンターにて、ヴェルディ『レクイエム』でアメリカデビュー。NHK ニューイヤーオペラコンサートでも聴衆を魅了している。新国立劇場では小劇場オペラ『外套』、高校生のためのオペラ鑑賞教室『椿姫』『ラ・ボエーム』に出演。二期会会員。

### 【カヴァラドッシ】村上敏明

MURAKAMI Toshiaki

〈7月6日・10日・14日〉

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第17期生修了。2001年12月より文化庁派遣芸術家在外研修員として2年間ポローニャに留学。第9回バタフライ世界コンクール・グランプリなど受賞多数。これまでに『椿姫』アルフレード、『ラ・ボエーム』ロドルフォなどに出演。新国立劇場では『黒船-夜明け』領事、『修禅寺物語』源左金吾頼家、『ドン・カルロ』レルマ伯爵/王室の布告者、『オテロ』ロドリゴ、鑑賞教室『蝶々夫人』ピンカートン、『椿姫』アルフレード、『愛の妙薬』ネモリーノ、などに出演。18/19シーズンは『紫苑物語』藤内、『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョに出演予定。藤原歌劇団団員。

### 【カヴァラドッシ】樋口達哉

HIGUCHI Tatsuya

〈7月9日・11日・13日〉

武蔵野音楽大学卒業。同大学大学院修了。1996年渡伊、翌年サンレモ国際声楽コンクール特別賞受賞。1998年E.カルーソー国際声楽コンクール最高位受賞。同年ハンガリー国立歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォでヨーロッパデビュー。新国立劇場では『ファルスタッフ』フェントン、『黒船-夜明け』領事、『フィデリオ』ヤッキーノ、『ナブッコ』イズマエーレ、鑑賞教室『トスカ』カヴァラドッシ、『蝶々夫人』ピンカートン、『カヴァレリア・ルスティカーナ』トゥリッドゥなどに出演。二期会会員

### 【スカルピア】須藤慎吾

SUDO Shingo

〈7月6日・10日・14日〉

国立音楽大学卒業、同大学院修了。第37回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞、オルヴィエート国際オペラコンクール2位(イタリア)などを受賞。99年渡伊、各地の劇場にて『椿姫』ジェルモン、『リゴレット』タイトルロール、『オテロ』イアゴ、『ラ・ボエーム』マルチェット、『トスカ』スカルピア、『カルメン』エスカミーリョなどに出演。06年帰国し藤原歌劇団に入団。同団で『愛の妙薬』ベルコーレ、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵などに出演。新国立劇場では『椿姫』ドゥフォーール男爵、『アンドレア・シェニエ』フーキエ・タンヴィル、鑑賞教室『蝶々夫人』シャープレスに出演。国立音楽大学講師。藤原歌劇団団員。

### 【スカルピア】谷 友博

TANI Tomohiro

〈7月9日・11日・13日〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。第27回リクルート・スカラシップ生としてミラノ音楽院に学ぶ。第68回日本音楽コンクール第1位。第35回イタリア声楽コンクール第1位。1995年マリポール国立歌劇場で『ルチア』『セビリアの理髪師』、ピストイア市立劇場で『ラ・ボエーム』『椿姫』などに出演。99年に藤原歌劇団『ラ・ボエーム』のシヨナル役でデビュー後、『椿姫』『ラ・チェネントラ』『ルチア』などに出演を重

ねる。新国立劇場では『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、『ルチア』エンリーコ、『カルメン』ダンカイロ、『トスカ』アンジェロッティ、『夕鶴』運ず、『リゴレット』モンテローネ伯爵など出演多数。藤原歌劇団団員。